

ぎやらりー

わ

NO. 63

2013年7月号



●花の村内散歩
アジサイ (木村成男撮影)

編集・発行 NPO法人グループわ (堺 汎) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX743-3830



わあ、きれい。できあがった七夕飾りを見上げる女川小の児童 (7月4日)

東北へ第4次隊 交流の七夕

お元気でしたか。また来ましたよーグループ〈わ〉の第4次東北支援チームは、7月2日から6日まで宮城県石巻市・女川町・名取市・仙台市若林区を訪問。体育館や仮設住宅・小学校・児童館・保育所で、スポーツ大会・料理交歓会・七夕飾り制作・昔遊びを楽しんできました。3回目の訪問先もあり、なごやかに日程をこなすことができました。今回は仙台豊齢学園と初めての連携プレーが実現。さらに一部日程で福祉振興協会・18期G学習チームも加わり4者協働の賑やかな活動となりました。猛暑のさなか、レンタカーを駆って東奔西走しましたが、仮設の皆さんには料理やスポーツ大会が、園児にはアンパンマンが大もてで、豊齢側も私たちも、晴れやかな気分で帰ってきました。(広報・南形徹) =関連記事2面~4面



ボランティアの
輪をひろげよう

63
号の
内容

女川で、名取で多彩な交流楽しむ 2~4面

開校20周年記念事業	5面	グループわ第10回定期総会	6・7面
〈わ〉の功労会員表彰	8面	新理事長に聞く	9面
連載 花実の森⑥	10面	ボランティアの心	11面
カレッジだより	12面	WAからのお知らせ	13面

神戸餃子と仙台そばで盛り上がる 豊齡とのコラボ盛況でした

東北での活動日程は7月2日（火）～6日（土）の5日間。天気も小雨程度で、スケジュールをこなすことができました。〈わ〉のメンバーはこれまでの半数の8人ですが、仙台豊齡学園や振興協会、18期G学習チームも一緒なので、スタッフの総勢は30人ほどになりました。

2日に豊齡学園グループと翌日からのプログラムについて簡単な打ち合わせ。3日朝、女川町の総合体育館に集合して「さあ、やるぞ」。双方ともやる気満々です。この日は、ディスコン大会（ディスクを転がす軽スポーツ）。町民や施設の皆さんも続々と集まりざっと80人。豊齡スタッフの審判で私たちも



交じって親善試合を楽しみました。施設からは8人。一投ごとに「イエーッ」とハイタッチしてはしゃぎ回り、付添いのスタッフも大喜びでした。宿舎への帰途、東北物産販売で世話になっている笹かまぼこメーカーを訪問、工場見学しました。

仙台七夕のミニ飾り

4日は清水仮設と野球場仮設の2か所で、仙台の伝承七夕飾り制作。18期G学習チームがチンドン屋姿で仮設を回って「皆さん、七夕飾りを作りますか」と呼び込み。おかげ？で50人ほどの参加がありました。豊齡スタッフの指導で、2時間ほどかけて高さ70cmのミニ飾りが次々に完成。「わあ、きれい」。いいお土産になりました。

午後は、女川小で同じく七夕飾りの実習。1・2年70人ほどの授業なので、短冊に願いを書いて大きな笹竹に結んでもらいました。女の子の「モデルになりますように」の願いに交じって「お金がたまりま

すように」「貯金してお父さんにあげたい」といった男子の短冊も目につき、私たちはホロリとききました。

夕方、石巻の宿舎に私たちと協会チーム、G学習メンバーら17人が勢ぞろい。夕食を共にしながら〈オールしあわせの村〉で氣勢をあげました。

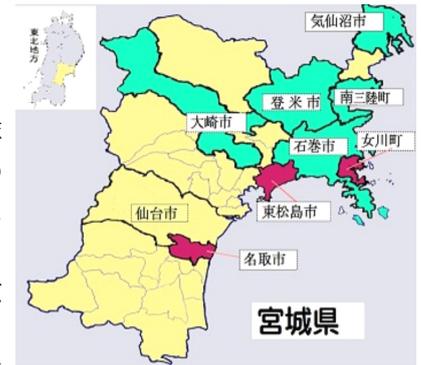
5日は2班に分かれ、A班は女川町浦宿の仮設で仙台男の台所チームや仮設の皆さんと手料理交歓会。神戸は水餃子とおにぎり。仙台は手打ちそばと卵焼き、仮設側はデザートメニューです。約50人がワイワイがやがやと奮闘2時間(写真⑤)。できあがった手料理の数々を「うまいうまい」と自賛しながら楽しみました。途中、協会の駿河さんが食の話で座を盛り上げ、豊齡のフラチームが見事な踊りを見せてくれました。「ナマの演奏は初めて」と好評でした。

B班は名取市閑上小学校へ。津波で廃校となったため間借り校舎です。豊齡のお手玉チーム、18期チームも加わり、昔遊びやアンパンマン踊りを楽しみ、子供たちも大喜びでした。午後は仙台へ足を延ばし六郷児童館へ。子供たち30人と1時間余りワア、ワア騒いでお別れです。一方、カレッジの糸原マネージャーと南形は別行動。名取市の社協と仙台豊齡学園を表敬訪問しました。

6日は名取市の増田保育所へ。ここへは3回目。アンパンマン姿の増金さんが登場すると、子供たちは大はしゃぎ。いっしょに歌ったり踊ったりしましたが、ついには「アンパンマン貸して、かぶらせて」とひっぱりだこでした。

【訪問先】 仙台豊齡学園、女川町社協、総合体育館、清水仮設住宅、浦宿仮設、体育館仮設、女川小学校、名取市閑上小学校、名取市社協、増田保育所、仙台市六郷児童館（振興協会とG学習チームは一部別行動）

【第4次メンバー】 南形徹（団長・生14）海野龍英（リーダー（食16）橋野美子（一般）片岡隆夫（国17）増金すみ子（福11）大澤貞男（生13）内村ナナ子（国18）板谷純子（生18）▽留守部隊＝芦田義和（生15）波多野武郎（食16）田路義弘（生17）▽カレッジ事務局＝糸原邦彦▽振興協会＝吾郷信幸、佃孝司、駿河明子、エスケール音楽チーム5人、ドレミちゃん、体操2人▽健福18期G学習＝前田武広ら5人。【豊齡側】健康ネット6人、案山子の会8人、男の台所15人、伝承七夕8人



スポーツ、七夕作りなごやかに



【写真説明】上段㊦＝5日、女川町浦宿の仮設で手料理作りに忙しい参加者。㊧＝6日、増田保育所でアンパンマンのお面をかぶってはしゃぐ園児。



【写真説明】中段㊦＝4日、清水仮設で18期Gチームがチンドン屋で人集め。㊧＝4日、清水仮設で七夕づくり 下段㊦＝3日、女川町体育館で施設からの参加者と一緒でダンス大会。㊧＝津波に襲われ廃校になった閉上小学校の旧校舎。近くに同じく廃校になった中学校もある。

●第4次チームの写真は片岡・古後・南形が撮影

「やってよかった」 豊齢との連携

第4次派遣チームは、仙台豊齢学園と組んだ初めての活動でした。スポーツ大会・料理交歓会・仙台七夕飾り制作をメインにやろうと、3月から交渉を開始。さらに振興協会・18期G学習チームも加わり、賑やかながら複雑な？チーム構成となりましたが、海野リーダーの奮闘でなんとか実現に漕ぎつけました。「やってよかったね。まずまずの成功だね」。私たちも、豊齢側も、協働で活動する第一歩が踏み出したとの思いを深くしました。

スポーツ大会・料理交歓会は、会場確保・PRなど女川町社協の武石久美子氏の尽力によるところが大きく、支援活動を通じてこの3年間に築いたネットワークが実を結んだと思っています。ただ、仙台は遠隔地で細かい連絡がスムーズに進まないこと、子供相手のボランティアに対する方向性がかなり違っていることなど、継続するためには課題も残りました。カレッジ事務局の糸原マネージャーが同行、豊齢学園側と懇談されたことで、KSCと豊齢が連携する機運も生まれたのではないのでしょうか。(南形)

3年間の支援が根づいた

▽糸原マネージャーの話 初めての事務局が同行したが、3年間の支援活動が根付いていることをまざまざと感じ、感激した。継続は力なりですね。豊齢学園とは、運営面やカリキュラムについて情報交換を進めたい。

▽振興協会・吾郷氏の話 村の支援隊に同行して、現地と強固な絆が築かれているのを痛感した。これからは、どんな活動を、どんな形で継続していったらいいのか。地元のニーズをうまく汲み取って効果的な支援をしたい。

▽18期G学習の感想 現地を踏んで、被災者と話をして、大変勉強になった。仮設ではチンドン屋をやって人集めをしたが、「参加しますよ」と声がかかり嬉しかった。〈わ〉のメンバーと一緒に活動する先例ができたと思う。

▽豊齢ネット・湯村議長の話 今回の活動は貴重な体験になった。スタッフも「やってよかった」と言っており、いい刺激になった。〈わ〉の行動力・チームワークの良さには感心した。今後も協働する方向で考えていきたい。(4月1日～7月10日分)

●この事業は、独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業によるものです。



園児たちはアンパンマンの歌が大好き(7月6日・増田保育所)

サポート募金賛同者

納村裕子(生15) 1万円、成瀬和夫(生12) 千円、岩井俊明(音6) 千円、宮崎芳江(生12) 千円、久保正志(国14) 2千円、下村玲子(国11) 3千円、林宏文(生17) 5千円、桑原サト子(福3) 千円、中野暁巳(生17) 2千円、堀池邦康(生17) 2千円、仲田稔(福1) 1万円、田島元一(生9) 1万円、津田彰子(福1) 5千円、中村吉宏(国5) 千円、上月清(食12) 2千円、多賀浩三(国13) 3千円、樽井敏彦(国17) 1万円、久保田盛利(食7) 千円、柳田千恵子(生16) 千円、榊原弥栄子(生13) 1万円、横山忠時(福4) 千円、杉田明子(福1) 千円、藤井健次(福14) 3千円、根角光宣(一般) 千5百円、東日本支援者612円、内田たみ子(福10) 1万円、福田慶子(生11) 3千円、花山梅林会5千円、鈴木輝男(福11) 3千円、胤艸武宏(福1) 2千円、小倉忠重(音13) 千円、市岡克子(福17) 1万円、有田兼光(生14) 千円、横井正昭(国6) 千円、太田治彦(生17) 3千円、加藤悦子(福3) 2千円、仲田稔(福1) 1千5百円、堺汎(園15) 1万円、井口久美子(福16) 1万円、芦田義和(生15) 1万円、黒崎幸雄(生11) 5千円、江本和嘉子(食7) 1万円、豊田實(生4) 千円、橋岡章(食8) 千5百円、村岡孝(音13) 3千円、小原美代子(国15) 3千円、戎井正俊(生17) 2千円、松尾恭治(生9) 千円、黒坂泰(生9) 千円、匿名希望(生14) 5千円、水野俊夫(国14) 千円、三島博子(食10) 3千円、櫻井幸子(生16) 3千円、岡田美津子(国17) 5千円、小坂芳弘(音8) 3千円、芝野公男(国6) 1万円、福原克巳(福1) 3千円、牧田譲(国7) 2千円、池田八郎(生17) 2千円、片岡桂子(音14) 千円、武田勲(生12) 5千円、佐伯登美代(生7) 千円、吉本義雄(食14) 千円、菅田忠志(生1) 2千円、井上千加子(園15) 2千円、筒井ちなみ(音17) 5千円、長谷川洸士(国11) 3千円、小林精一(福9) 2千円、石河正博(生15) 1万円、佐々木可津(美16) 5千円、船越露子(園17) 3千円、佐々木可津(美16) 2千円、佐々木好啓(美16) 3千円、衣笠年子(国12) 3千円、田中恵子(食16) 千円、中村知賀子(食9) 千円、瀧本武司(福17) 2千円、市井浩(国17) 2千円、波多野武郎(食16) 5千円、水野光明(福16) 2千円、細野恵久(福3) 3千円、兵庫区会2万5千円、久保知彦(生8) 2千円、生環15期有志(生15) 1万円、南形徹(生14) 5千円、環境未来館5千326円、大西隆史(生8) 9千460円、田原厚子(園15) 千円、茅中英一(生11) 5千円、平尾順子(福3) 2千円、釜田弘(国3) 5千円、皆木喜一(美9) 千5百円、増金スミ子(福11) 1万円、津川静代(生6) 2千円、深川久美子(音5) 3千円、KSC民謡クラブ1万円、待鳥孝夫(生13) 5千円 = 計39万0398円

●ご協力ありがとうございました。

記念碑・桜植樹・コンサート・震災シンポ

KSC20周年 多彩なプラン出揃う

シルバーカレッジの開校20周年記念事業が7月初めまでにほぼ固まりました。10月9日（水）から12日（土）までの4日間にわたって記念式典と震災シンポジウム、コンサート、学園祭が順次開催され、カレッジは賑やかなお祝いムードに包まれます。校是を刻んだ記念碑は10月までに完成の予定で、記念の桜は年末をめざして植樹の準備が進んでいます。

【記念式典】9日10時からカレッジホールで。

神戸市長の祝辞、吾郷信幸福祉振興協会専務理事の祝辞、今井鎮雄学長の挨拶。新野幸次郎・福祉振興協会長の記念講演「これからのKSC展望」。

【シンポジウム・KSCの震災ボランティア】

9日午後1時～4時、カレッジホールで。グループ〈わ〉が主催。「阪神から東北へーKSCの震災ボランティア18年」をメインテーマに、第1期生から20期生につながるカレッジの震災支援活動を考える。映像と体験談、3年間にわたる東北支援活動報告。宮城から招くゲストによる講演、神戸市消防音楽隊による演奏。パネル写真展示。東北物産販売など。

【コンサート】10日のジョイラックデーに開催。午前、音楽室でピアノ連弾（クラシック）、午後、

カレッジホールで、和太鼓松村組の演奏。

【学園祭】11日にリハーサル、12日に開催。ほぼ例年通りの規模と内容で、学園祭実行委員会が企画・運営。テーマは「開校20周年“再び学んで他のために”」。

【記念碑】「再び学んで他のために」の校是を高さ80cm、幅120cmの花崗岩に刻んで玄関前に建立。今井鎮雄学長が揮毫。式典の前に、関係者で除幕式を行う。

【記念植樹】桜の苗木30本を通学路沿いの西斜面や駐車場などに植樹。卒業生、在校生に1口1,000円の寄付を呼びかける。



桜が植樹される通学路西斜面

【記念誌】カレッジ20年の歩みを振る内容で、3000部発行。A4判、約80ページ。（1冊500円）寄付金1口以上の方には進呈。

学習支援の幅を広げる努力を

25年度第1回学習支援の集いが4月30日午後、しあわせの村・研修館で開催され約40人が参加しました。市教委から生涯学習課の丸山明夫氏ら2人をアドバイザーとして招き、体験発表とフリートークが行われました。

24年度は55校から要請があり、学習支援などは要請にこたえられたが、特別支援は8割弱にとどまりました。登録者は102人。実働は46人でした。新しく学習支援委員長に就任した西田圭一氏（生9）は

こうした現状をふまえ、「未登録の支援者を含めた支援制度を作り、灘・垂水など支援の要望に応えられない地区をなくす努力をする。そのためには、グループ〈わ〉のサポートも必要だ。活動の幅を広げ、子ども達をどう育てていくかを考え、



実りのある活動を展開したい」と今年度の方針を語りました。

西区狩場台小で算数を教えている堺壽代さん（音9）は、「一昨年のゆとり教育見直しで、カリキュラムに余裕がなくなり3、4年生の算数支援などを中止せざるを得なくなった」と現状を報告しました。

西区春日台小で特別支援をしている橋野美子さん（一般）と、北区小倉台小の長谷川雅江さん（福9）からは「知的障害、身体障害、自閉症などの児童は細心の注意を払う必要がある。介助を行う場合は出来る限り手を出さず、言葉を添えてほめてあげる、辛抱強く待つ、声をかける、といった姿勢が大切です」との指摘がありました。神戸っ子応援団の動きについては、市教委から説明はなく、参加者からの意見もありませんでした。（広報：北村洋）

東北支援・学習支援を重点に グループわ 第10回定期総会を開催

NP0法人グループ〈わ〉の第10回定期総会は5月17日カレッジホールで開かれ、24年度の事業報告と25年度の事業計画を承認。新たに堺汎氏(園15)を理事長に選任して25年度の活動がスタートしました。総会后、功労会員に選ばれた会員3人と4団体の表彰式も行われました(8面に関連記事)。(広報・井口久美子)

新理事長に堺氏就任



わの旗の下で挨拶する堺理事長

総会は増金スミ子さん(福11)の司会で午前10時開会。西田圭一理事長の挨拶に続き、来賓の吾郷信幸・福祉振興協会専務理事から「夏まつりなど、村の〔にぎわい作り〕では大変お世話になっている。学習支援や電話相談、東北支援など、グループ〈わ〉の多岐にわたるボランティア活動に敬意を表したい」と祝辞がありました。今井鎮雄学長からも「超高齢化社会における新たな秩序と奉仕と地域社会のあり方を、〈わ〉の皆さんもぜひ考えてみて欲しい」とメッセージが寄せられました。

議長に道満俊徳氏(生13)を選出。「出席者198、委任状610、計808で定足数661を上回っており総会は成立」との報告があり議事を開始。西田理事長が「24年度は、厚生労働大臣表彰や子育て賞など、〈わ〉の活動が評価され、にぎやかな年度になった。赤字だった収支も改善し、事業は順調に推移している」と事業報告。決算報告とともに、拍手で承認されました。続いて新役員20人(別表)が拍手で承認され、西田氏に代わって理事長に就任した堺汎氏が「会員が1,300人を超え、社会的責任も重くなった。カレッジの20周年行事には積極的に参加し、3年目を迎える東北支援もぜひ継続したい。学習支援のメリットを生かして、神戸っ子応援団をサポートしていく」と決意を述べました。

さらに、25年度の事業計画・事業予算を原案通り拍手で承認。11時過ぎ議事を終了しました。この

【25年度の新役員】

理事長	堺 汎 (園15) = (西)
副理事長	南形 徹 (生14) = (北)
副理事長	小畑浩昭 (国16) = 総務 (北)
理事	蘆田義和 (生15) = 企画 (北)
理事	井上千加子 (園15) = 事業 (須磨)
理事	木田育義 (生16) = 事業 (北)
理事	北浦俊明 (生16) = 財務 (西)
理事	井口久美子 (福16) = 広報 (長田)
理事	俵貴志子 (生16) = 総務 (中央)
理事	北村 洋 (生17) = 広報 (北)
理事	吉本 弘 (音17) = 総務 (垂水)
理事	山本都子 (生17) = 財務 (兵庫)
理事	田路義弘 (生17) = 事業 (須磨)
理事	片岡隆夫 (国17) = 事業 (北)
理事(非)	西山久雄 (園16) = (兵庫)
理事(非)	海野龍英 (食16) = (垂水)
理事(非)	土井昭政 (国10) = 北区会長
理事(非)	小林精一 (福9) = 文化部長
監事	西田圭一 (生9) 長谷川洸士 (国1)

【区会長】 東灘=長谷川博(生9)

灘=木下寛治(食10) 中央=久保正志(国14)

兵庫=大掛敏夫(生7) 北=土井昭政(国10)

長田=藤田忠之(福13) 須磨=細野恵久(福3)

垂水=板野武一(生16) 西=水野俊夫(国14)

【部会長】 福祉=加藤勇治(美10)

国際=柳川瀬淳一(国13) 環境=上田市夫(生10)

文化=小林精一(福9) いきがい=丸草佑次(生14)

▽環境未来館責任者=古川孝友(生12)

▽須磨一ノ谷プラザ責任者=藤田忠之(福13)

あと、部会長・区会長、環境未来館・一の谷プラザ責任者、学習支援委員長に選出された17人(別表)が紹介されました。

功労賞の表彰式のあと、昼食休憩をはさんで12時40分から、高倉健主演の映画『あなたへ』(120分)が上映されました。妻の遺志をくんで故郷へ散骨に訪れるストーリーが共感を生んだようで、ホールは満席状態。「いい話だったね」との感想が聞かれました。



知識偏重の教育社会のなかで、とても大切なことです。〈わ〉のイベントで、こうしたことを伝えていきたいと思います。

◆山本都子 グループ〈わ〉へのお誘いを受け、私でも何か出来ることがあるのならと思ひ、お世話になることになりました。財務関係の仕事をお手伝いさせていただきます。経験してきた会社の経理とは違うかもしれ

会員増と新鮮力をどう生かすか

【視点】新入会員が196人と好調で、組織全体では初めて1,300人を突破した。総会の出席者も約200人と、例年より2割以上増え、グループ〈わ〉への関心が高まったのは喜ばしいことだ。

24年度の事業規模は約3900万円。2つの電話相談や未来館などの委託事業収入が8割弱を占め、残る2割強を福祉関係の助成金と190万円の年会費などで補う形になっている。収支は若干ではあるが黒字に転換した。赤字だったパソコン講座も受講者増で持ち直し、〈わ〉本部と環境未来館の手当てを削減して収支の改善を図った。

25年度は、会費収入が若干増えるが収支構造に変化はない。東北支援は継続するが、助成金の枠は細ってきており活動内容の見直しが求められる。加えて、KSCの20周年記念行事や花実の森の整備があり、財務的にはきびしい局面が続く。

一方、執行部は16・17期の理事が運営の中心となり若返った。団塊の世代を巻き込んだボランティア活動・イベント事業をどう展開していくか。会員増をどう生かしていくか。〈わ〉の活動も10年目を迎えて、ターニングポイントに入ったといえるだろう。(井口)

会員のお手伝いに頑張る 新理事抱負

◆片岡隆夫 「再び学んで他のために」とのフレーズを3年間聞いてきた。〈わ〉はこの精神を汲んで実践しているとのことなので、私も何程のことが出来るかと、思案しながら参加しました。たくさんの会員が、各部会や区会で多岐にわたり活動されており、足手まといにならないよう頑張りたいものです。

◆田路(とうじ)義弘 在学中ケナフの活動を通じて痛感したことは、「作品の出来栄を見て子どもたちを褒める」ということでした。物を作ったり工夫したりする楽しさを学び、自信を持たせることは、

れませんが、頑張りたいと思います。

◆吉本 弘 卒業後は、今度こそワグナーに酔おう、ハンモックの上で本を読もうと考えていたところ、今年初めに諸先輩から、グループ〈わ〉へのお誘いがあり、これらの思いをまたの楽しみに残して、何かのお役に立つならばと思ひ、お手伝いすることになりました。

◆俵貴志子 卒業後1年間は、環境部会の里山クラブにお世話になりましたが、グループ〈わ〉では総務関係を担当させていただきます。〈わ〉の存在は知っていましたが、その仕事量の多さに驚いています。わからない事ばかりですが、会員の皆様のお役に立てれば、と思っています。

◆北村 洋 カレッジの3年間はアツという間に過ぎてしまいました。卒業後はクラブOB会に所属して過ごそうと考えていたところ、縁あってグループ〈わ〉の広報をお手伝いすることになりました。戦力になるまで時間がかかると思いますが、どうかよろしくお願いたします。

【写真】200人を超える出席者で満席状態の会場

〈わ〉と一緒に活動しませんか

シルバー人生を実り豊かにするために、グループ〈わ〉の仲間に加わってボランティア活動を楽しみませんか。趣味や特技を生かしてのサークル活動、区単位の地域活動や学習支援活動・子供たちの電話相談など、私たちが活躍できる場はたくさんあります。在校生・卒業生・一般参加を問わず、入会をお待ちしています。

●部会・区会・本部のもとに、約60のサークルがあり、福祉・環境・国際・文化・いきがいの5部会に分かれ活動しています。区会は各区ごとにおかれ、在校生や自治会とも連携して河川・公園の清掃、小学校での見守り活動などを行っています。

●本部事業 環境未来館・一ノ谷プラザの運営。子どもを対象とした虐待やいじめ問題の電話相談。小学校や水の科学博物館との協働イベントなど、年間を通してさまざまな活動を行っています。

問い合わせは、わ事務局へ(743-8101)

功労賞：会員3人・4グループ表彰



喜びの受賞者（右より）福原克巳、富永征児、井上堅、辻郁子、堀内昭、茅中英一、藤原昭宏（道満さんの代理）の皆さん

【功労会員】

- ・福原克巳（福1）：障害児の園外保育支援
- ・富永征児（園7）：幼稚園での畑・菜園指導
- ・井上 堅（福8）：高齢者施設の合唱訪問

【功労グループ】

- ・滝谷Gホーム：障害者の夜間見守り10年
- ・銀の匙：子どもや高齢者への食育支援
- ・野鳥と自然観察会：野鳥の観察と保護活動
- ・里山和楽会：里山林の整備再生活動6年

食育や自然観察活動

長年にわたる活動に対し、25年度の功労賞に選ばれた会員3人・団体4グループが5月17日〈わ〉の総会で表彰され、理事長から表彰状と副賞が手渡されました。会場からは盛大な賞賛の拍手が贈られました。今回の功労賞は、区会・部会・サークルなどから推薦のあった個人・団体を3月の運営委員会で審査し、4月の理事会で正式決定したものです。委員会では「もう少し候補を絞った方がいい」との意見もあり、26年度は再考することになりました。

【受賞者のひとこと】

◆福原克巳：障害児との接触、戸惑いもあったが多くの人の献身的な努力に魅せられ、子どもから純真さと若さを貰い、こちらがボランティアしてもらったようなものでした。高齢と腰痛で昨年6月に12年半の幕を閉じたが、仲間へ感謝し、この栄誉を分かち合いたいと思います。

◆富永征児：今回の受賞については、市立幼稚園の食育ボランティア活動が評価されたものと思っているが、この活動は常に東灘区会の仲間の協力を得ている活動だけに、本来はグループ受賞が妥当であったと思っています。「再び学んで・・・」の実践に頑張っています。

◆井上 堅：昔聞いた、歌った懐かしい歌と一緒に歌う。利用者さんには歌と共に昔のあの頃や思い出が蘇る。そんな活動を仲間と10年余り、（楽しかった、

ありがとう）の言葉に元気を貰っています。経験や趣味をいかして、「人のために出来ることがある」ということは、自身の「生き甲斐」になっています。今後もこの活動を続けていきたいと願っています。

◆滝谷Gホーム（堀内 昭）：活動を始めて10年、多くの方々が関わった地道な努力の結果と有難く思っています。私たちの活動は入居者の夜間と出勤までの見守りです。時には彼らの仕事のことやプロ野球の話などしています。活動メンバーの募集に苦労しています。ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

◆銀の匙（辻 郁子）：平成10年入学し、卒業時に私たち食文5期は「銀の匙」をグループ名として活動することにし、神出自然教育園、児童館や環境未来館などで「食」に関するボランティアを続けて参りました。その間小学生からシルバー世代までの方々と出会い、私たちも元気を貰い、心豊かに過ごすことができました。グループ功労賞を頂いたことは大変名誉なことだと感謝しています。

◆野鳥と自然観察会（茅中英一）：平成23年の神戸市環境奨励賞に続き、今回の受賞は8年目となる野鳥保護活動（巣箱・植樹管理）の仲間にとり大きな喜びであり、今後の活動継続の励みとなりました。自然豊で野鳥の多い活動場所の提供やいろいろとご指導下さった周囲の方々の温かいご支援に深く感謝しております。

◆里山和楽会（道満俊徳）：里山和楽会は平成19年4月に生環コース13期生の有志で結成し、放置林を完全に再生する里山林整備再生作業を目的としてスタートしました。学習と実践活動を重ね作業手法を習得していきました。このため毎週作業を実施し、本年3月に「かがやきの森」に見事再生した里山林が完成しました。受賞を励みに、現在この森が元に戻らないよう保全のあり方を考えております。

一澤田京子さんが表彰辞退—

個人功労者として、4月2日の理事会で表彰が決定した澤田京子さん（福7）が、その後表彰を辞退されました。理事会・運営委員会で承認されましたので、広報誌「ぎやらりーわ」4月号、カレッジ情報誌「爽風」5月号に掲載した「功労者決定」の記事のうち、該当部分を取り消します。（広報：北村洋）

神戸一のNPOをめざそう

堺新理事長にインタビュー

会員数が1300人を超えたグループ〈わ〉。この集団をまとめ、発展させる大きな役割を担うことになった堺汎新理事長に、課題と抱負を聞きました。（広報・北村洋・井口久美子）

—理事長就任おめでとうございます。まず、抱負から聞かせて下さい。

堺 若い会員、新しい理事が増え、新鮮なパワーに期待するところ大です。私も頑張ります。カレッジは20周年を迎えますが、これを機に、グループ〈わ〉も組織の若返り、新旧交代をうまくやって継続的な発展をはかりたい。目指すは神戸でナンバーワンのNPOです。

—新しいイベントや事業は？

堺 開校20周年記念事業で〈わ〉が主催する「震災シンポ」に全力をあげ、卒業生・在校生と共に喜びを盛り上げたいですね。植樹した桜の面倒をみる「桜守りの会」も考えています。

地域人材センター（長田区）で始めたパソコン講座が定着しつつあり、これを軌道に乗せることも大事なことです。

—東北支援活動はどうなりますか。

堺 7月に派遣する第4次支援チームに全力を注ぎます。その後は、パイプが細くなっても、これまでに繋がりがあった地域を重点に、あと数年は続けたいですね。

—カレッジ事務局と〈わ〉と同窓会を統合して校友会的な組織を作るという話がありましたね。

堺 〈わ〉はボランティア団体、同窓会は親睦の集まりと目的が異なるので、単純な統合は難しく、なかなか話がまとまりません。双方の力を結集すれば、もっと幅広い活動ができるのではないかと、思っていますが…。

—組織の今後や活動についての課題は？

堺 今年も4サークルが誕生しましたが、廃部もありました。他のサークルも含め、活動が持続できるようなシステムやサポートが必要ですね。

カレッジ生の知識・人生経験はすばらしい。それらを生かした夢のある活動ができる環境づくりが、〈わ〉の役割だと思っています。

—広報活動に望むこと。

堺 〈わ〉の活動は、事業と広報が大きな推進力となっており、重視しています。ホームページの充実、徐々に進んでいますが、お知らせなどの「メール配信」を考えてはどうでしょうか。

—メルマガ会員ですか。面白いですね。会員のパソコン普及率を見ながら、広報で検討してみます。本日はありがとうございました。

◆プロフィール：園芸15期（西区会）。H23年から理事。夫人（音9）も学習支援や、西区会役員として活



車椅子テニスをサポート

第2 0回神戸オープン（車いす）テニス大会が、4月26日から29日まで三木市のブルボンビーンズドームで行われ、グループ〈わ〉の国際部会と北区会から、15人がボランティアとして裏方のお手伝いをしました。

今回は、韓国の4選手を含め、98人が参加。4日間にわたって熱戦を繰り広げ、男子は真田卓選手、女子は上地結衣選手が優勝しました。



支援活動は、関西空港と神戸空港での送り迎え、

添乗補助、宿舎（西神オリエンタルホテル）からの送迎バス介助、飲み物・弁当の配布、廃棄物回収など多彩。〈わ〉の15人は大会運営の中心となって早朝から夕方までフル回転しました。選手たちは表情も明るく、送迎バスの中は賑やかな会話が飛び交い、こちらも一緒に大声で笑ってしまうほど。初めて活動に参加したAさんは、「選手はまったくハンデを感じさせず、逆に元気をもらいました。来年もお手伝いできれば」と話していました。最後にパラリンピック優勝経験の国枝真吾選手を囲んでハイ、ポーズ。=写真左・土井昭政撮影。

グループわは、7年前から大会ボランティアに参加しており、29日に行われた記念式典には西田理事長、堺副理事長がゲストとして招待されました。

（国際部会長：柳川瀬淳一）



育ちゆく 花実の森



⑥

春の里山は七変化

菅田忠志（生11：須磨区会）

6月を迎え、花実の森の木々の梢も、この春芽生えた新芽を大きく広げて太陽の光をいっぱい受け、光合成で作られる栄養素を幹の隅々まで送り込んでいることだろう。ついこの前まではバツサリと葉を落とし、木々の空間もすかすかの隙間だらけで、飛び交う野鳥も姿を隠すのに苦労していたが、今はもうその心配はしなくて済む。野鳥観察にはちょっと見にくい愛好家泣かせの季節。また、春の里山は次々と入れ替わって咲く花たちの出番の季節でもある。街中のサクラより一足遅れ

て咲くヤマザクラは、ここ“花実の森”の大家さん。幹の直径が30cmを超すような大径木が何本あるだろう。すぐ傍の人目の高さで「見て見て！」と呼びかけて咲くコバノ



ミツバツツジはこの森のおかみさん。林床に咲く草花たちも、それぞれ装いを着こなして順番通り規則正しく咲き始める。ホタルカズラの青い花、タチツボスミレのうす紫、キイチゴやクサイチゴの白い花、今咲き始めたうす桃色のササユリは、やはり花実の森のお姫様。そっと足を踏み入れ、語りかけてやってください。そう、春の里山は7変化で待っていますよ。＝写真は花実の森のお姫様「ササユリ」

北区会で農村歌舞伎を応援



新緑香る4月21日、北区上谷上の天満神社境内で農村歌舞伎が上演されました。演目は「修禅寺物語」と子供歌舞伎の「三人吉三」。地元民や観光客ら300人が詰めかけ、後方の立見席にはカメラの放列も。4年に一度の珍しい舞台は大入り満員です。

さて、写真の左から2人目は誰でしょう？ そう！この人は、斬られ役の兵士として、急遽、舞台に立つはめになった、「ぎゃらりーわ」のM編集長。「これがやみつきとなって、〈わ〉をなおざりにさせぬよう、しかとお願いいたします」。

北区近辺には4つの農村歌舞伎舞台があり、毎年、交互に上演会があります。上谷上の舞台は県の重文で間口約12m、奥行き約6mの萱葺きで1860年代に建てられたものです。演ずるのはボランティアの「神戸すずらん歌舞伎」グループ。KSC関係者も3人が所属しています。この日は、北区会の呼びか

けで10人ほどが見学に訪れました。重厚で格式ある舞台、きらびやかな衣装、仲間たちの熱い演技…おひねりが飛び交い、温かい声援と感動の拍手が舞台を盛り立てました。郷土に残る貴重な文化遺産＝農村歌舞伎を見守り、育てるのも〈わ〉の使命の一つではないか、と舞台に見惚れながら思ったことでした。（広報・徳原尚世）

皆で声援「フレイ・フレイ灘区会」

灘区会では毎週木曜日に、市立青陽東養護学校小学部で図工授業のサポートボランティアを5年ほど続けています。メンバーは飯井冨子さん（一般）ら5人。1回に3人ずつのローテーションを組み、授業の準備をして、子どもたちが絵を描いたり、工作をしたりするお手伝いをします。いっしょに授業を受けていると私たちもとても楽しくなります。6月8日は運動会。私たちボランティアもお誘いを受け、応援に行きました。暑い陽射しの中、小学部から高等部まで、全校あげて元気に競技や演技に熱中する子供たちに感激。「がんばって！」日ごろ親しい子供たちには、思わず大声をはりあげてしまいました。

（道井紅：福17）

●野鳥に足環：野鳥と自然観察会では、昨春に続き、しあわせの村内に飛来するシジュウカラのヒナ45羽に足環を装着しました。昨年足環を装着した34羽はどこへ？まだ情報はありません。

（野鳥と自然観察会代表：茅中英一）

ボランティアの心

全盲の生徒に寄り添って

横井幸雄（福祉11期、須磨区会）

企業社会での厳しい環境ではボランティアの余裕もなく、意識もなかったが今は違う。グループ〈わ〉だけでなく、多種多様なボランティア活動に積極的に参加している。

入学時に聞いた今井学長の講話とその後のボランティアの体験で意識が変わった。今井学長は、「シルバーカレッジは老人が好きに過ごす老人大学ではない。20世紀は日本を豊かにする時代であったが、21世紀は助け合う世の中を作る時代で、カレッジはこれに参画出来る人を育てることを目指している」と強調された。カリキュラムで学んだ障害者施設での体験やグループ〈わ〉での活動から得たものも多い。

ボランティア体験の一つをお話します。中学校では2年生になると「トライやるウィーク」と

して、1週間社会に出て活動体験をする行事があります。その支援を求められ盲学校に行きました。2日間、生徒さんと2人で行動を共にしましたが、彼は全盲、肢体障害、そして知的障害がありました。活動先に行く電車の中や活動先でも、ずっと手をつないでいましたが、彼の身体能力から、手の温もりしか気持ちを伝えられないように思いました。それでも彼は「あったかい」という言葉と「よっこいさーん」という名前を何度も呼んでくれて、安堵した気持ちになりました。

お昼は弁当を買って食べたが、どのようにして食べさせてあげればよいか。経験がなく、話かけながら、「たまごですよー」「お肉ですよー」と必死の思いでした。小便も一人では出来ないので、手伝いが必要でした。私にとって2日間は貴重な体験でしたが、彼にとっても、他人と行動を共にしたという得難い経験になっただろう、と思いました。そして、この子たちのためには周りの温かい支援が欠かせないと強く感じました。「再び学んで他のために」を一人が一つでも実践すれば、大きな輪になると思っています。

日本銀髪族大学歓迎



忠義国民小の子らと一緒に

KSC男声合唱団は、3月28日から5日間、総勢33人で台湾へ遠征、古都・台南市などで交流演奏会を楽しんできました。特に印象に残ったエピソードはー。

台南の名所・武徳殿（日本の重文級）での歓迎宴には、頼清徳市長も列席され、その模様は新聞、テレビでも取り上げられました。終了後、武徳殿に隣接する忠義国民小学校の児童が『日本神戸市銀髪族大学男声合唱団歓迎』のプラカードで迎えてくれ、一緒に交流演奏会を行いました。児童からは団員一人一人に手書きの氏名が書かれた演奏会案内と武徳殿が描かれたキャップのプレゼントがあり、大感激でした。

その夜の演奏会も武徳殿で、台湾茶席演奏会として開催され、演奏終了後に各テーブルに団員が分かれて同席し、お茶の接待を受けながら歓談しました。

日本と違い、茶碗は小さく（一口で飲める量）お茶の葉は煎茶に似ていて、テーブル毎にお茶を接待する若い男性、女性がいる、それを10杯位飲みました。「今晚は眠れないやろなあ」などと言いながら、日本語は通じず、台湾語は解らず、唯一、共通語は英語だけで、身振り手振りの会話で大いに盛り上がりました。演奏会も大好評？で、心のこもった温かいもてなしに、疲れも忘れる一夜となりました。

（KSC男声合唱団・小林精一）

花山梅林に収穫の歓声

花山小（北区）3年生70人が、6月6日、学校裏にある梅林で梅の実採りに挑戦。たわわに実った梅は見るからに美味しそうです。笑顔いっぱいの子もたちは、バケツを手に「さぁとろぞ」とやる気満々。梅林のお世話役である花山梅林会会員も、嬉しくなりました。この日採った実は、ジュースやジャムにして子どもたちが試食。6月20日には、親子での甘露煮講習会も開かれます。

（広報：徳原尚世）



カレッジだより

学長・市長対談



3年生の共通授業の一環として「矢田市長と今井学長の対談」が5月7日（火）にカレッジホールで行われました。矢田市長は次の市長選に出馬しないことにより、今回で12回目の対談が最後となりました。神戸市職員時代から54年間神戸市政に携わってきた経緯から神戸の明日についての思いを熱く語りました。

新入生歓迎交流会

20期の3学年合同新入生歓迎交流会が5月20日～24日の間、健康福祉、国際交流協力、生活環境および園芸・食文化、美術工芸・音楽文化の順番にカレッジホール・学習室においてそれぞれ実施されました。アトラクションや写真撮影で和気あいあいと歓談しました。

ボランティア活動報告会

第18回ボランティア活動報告会が6月12日（水）、ボラセン傘下の28グループが参加して開催されました。カレッジホールではグループ活動紹介の後、器楽・踊り・歌など、グループがパフォーマンスを披露し、満場の喝采を浴びていました。また、ふれあいホールでは作品展示と販売が行われ、和室では茶会が、園芸室では紙漉き体験教室が開かれました。

地域交流会

地域活動を活性化しようと25年度の地域交流会が6月18日（火）～20日（木）の日程で開催されました。連日、午前中はカレッジホールで全体会が行われ、グループ＜わ＞の西田圭一前理事長より地域交流活動や学習支援活動についての講演がありました。午後は、北・兵庫区（18日）、東灘・灘・中央・長田・西区（19日）、須磨・垂水区（20日）の日程で各区ごと地区活動について活発な議論が行われました。



◆ カレッジ事務局人事

- ・ 退任：松井幹夫（学生支援リーダー）
丸田礼子（共通授業・地域交流担当）
- ・ 新任：田坂義英（学生支援リーダー）

私のボランティア日記

神戸ぴかぴか隊 平井庄一（生15）

5月19日（日）曇りのち雨 私たち、神戸ぴかぴか隊は「神戸まつり」会場の清掃と、案内のボランティア活動を行いました。近くの公園で、おなじみの黄色いTシャツ・キャップのユニホームに着替え、10時半頃会場へ。フラワーロードで、お祭りパレードが始まるとすぐに小雨がパラツキ始め、パレードの進行を追いかけるように本降りとなりました。午後はどのチームも雨中での行進となり、参加している子どもたちは可哀想でした。午前中、会場周辺の道路・公園にいっぱいだった観衆は、午後になると1列のみ立見している状況で、会場全般に散在しているゴミは少なく、少々侘しさの残る活動でしたが、満足感？をいできて帰途につきました。

春のバードウォッチング

春のバードウォッチングが4月29日、しあわせの村で実施され、家族連れ200人が参加しました。2コース、7班に分かれ出発。野鳥と自然観察会のスタッフがガイドを務めました。「あれはシジュウカラ、あの声はコゲラです」。わかりやすい解説に親子連れは満足そうでした。スタッフも「大勢が近くを歩いたのに、鳥たちの姿を見ることができて幸運だった」と喜んでいました。新緑の堂坊池などを楽しみながら歩くこと2時間、昼すぎにはスタート地点に戻って班毎に「鳥合わせ」をしました。ツグミ、ハクセキレイなど10数種類を確認、ウグイス、コゲラ、センダイムシクイなど数種類の声を聞くことができました。



堂坊池でカイツブリを観察する男の子

（広報：北村洋・写真：中屋好生）

WAからのお知らせ



OB役員が懇親会

グループ〈わ〉第5回OB役員交流会が、7月22日正午から新神戸駅近くの北野会館で開かれ、堺新理事長ら40人が参加。昼食を共にしながら、カレッジ20周年を話題に、約3時間にわたって旧交を温めました。吾郷信幸・こうべ市民福祉振興協会専務理事が「グループわに期待する」と題して講演。

参加者は熱心に聞き入っていました。今回は、現役の参加者が13人と多く、OBの皆さんと和やかな楽しい交流会となりました。

花実の森でカブトムシ誕生

花実の森で70匹あまりのカブトムシが誕生。山積みしていた木片チップが格好の棲み家(巣)になったようです。なぜだか、雄に比べて雌がかなり少なく、不思議な現象ですが理由は分かりません。カブトムシは、市内の小学校数校へ、環境学習の教材として提供します。=写真は6月18日、菅田志志撮影



●混声合唱団コーロ秋に演奏会 11月4日(月・祝)神戸文化ホール(大ホール)で、創立20周年を記念して第8回定期演奏会を開催します。入場整理券はFAX(078-593-8163)かメール(moril26@live.jp)で、森孝介代表までお申し込み下さい。

●来応援子ども未来フェスタ終了 毎年11月に開催していた子ども未来応援フェスタは「諸般の事情により中止」が決定しました。バザー支援グループが、フェスタの支援を始めて10年が経ちます。この間、多くの会員の方々のご支援、ご協力を頂きました。厚くお礼申しあげます。(福祉部会長:加藤勇治)

●〈わ〉のお盆休み グループ〈わ〉事務局は、8月15日(木)・16日(金)の2日間、お休みをとらせていただきます。8月6日(火)と29日(木)もカレッジ清掃日のため校内への立ち入りはできません。

●64号(10月号)の発行は2013年10月下旬です。

為せば成る…一ノ谷

しんぶんわ

須磨一ノ谷プラザは、かつて「神戸市勤労会館海の家」と呼ばれ、広く利用されていました。老朽化が進み解体の危機に陥っていましたが、地域の強い要望で耐震・改装工事が行われ17年に再オープン。この時、グループ〈わ〉に運営が委託されました。自主運営が条件だったので、〈わ〉では反対意見が多数でしたが、理事らの熱意もあって受託手続きを進め、「須磨一ノ谷プラザ」として出発したものです。洋室5、和室3の貸室業なので、初年度の運営はことのほか心配でした。2階源平の間からの花見は格別の趣があり地域住民にも好評なのですが、年間を通して地域の皆さんがどの程度利用してくれるか、皆目見当がつかなかったのです。

あれから8年…、「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、為らぬは人の成さぬなりけり」と諺にあるように、どんなに難しい事でも創意工夫と皆の協力で、光明は見えてくるものです。昨今の盛況をみると、再出発に関わった1人として感慨ひとしおです。(郷肥三 福9・垂水区会)

編集後記



★事業を1年経験し、4月から広報担当になりました。誌面作りに日々悪戦苦闘中ですが、1,350人の会員と繋がっている…そう考えると、心ワクワク。ぎゃらりーを媒介にして、会員と会員をつなぐ架け橋になれば…との夢を抱いて、新たな分野に挑戦しています。(井口久美子)

★グループ〈わ〉の広報に携わって、もう3か月。いろいろな行事に参加し、取材の勉強を行っています。春のバードウォッチング、2500人も集まった活気に溢れた・わいわいストリート、森林浴ハイク。写真選別、記事の作成、レイアウトなど、日々難しさを感じているところです。(北村洋)



お皿が回った回った

世界で1枚のハガキだよ！



さあ何を折ろうかな？



さあ、並んでね



E
Esquerre
サンドイッチカフェ
エスケール

しあわせの村
本館・宿泊館 1F
Tel.078-743-0733
OPEN 7:30-18:00
無休

コーヒー or
ソフトドリンク
100円引き
こちらをご持参下さい
H25.9月末日まで有効



たのしいなあ

(撮影：中屋好生・北村洋)

グループ わ 7～8月のイベント

開催日時・場所	テーマ内容と協力グループ	連絡先
7月27日(土) 15:30～18:30 しあわせの村 芝生広場	しあわせの村まつり しあわせの村最大の祭り、子どもたちと昔遊びやスポーツを楽しむ。 協力: うらしまたろう、むかしあそび研究会、ペタンククラブ	078-743-8092 こうべ市民福祉振興協会
8月3日(土)～4日(日) 9:40～12:40 13:40～16:40 しあわせの村 研修館	夏休み「昆虫採集と標本作り」教室 村内の昆虫を採集し、簡単な標本に仕上げる。 講師: 今給黎先生、協力: 里山和楽会	078-743-8092 こうべ市民福祉振興協会
8月4日(日) 13:00～16:00 KSCカレッジホール	かえっこザール 要らなくなった玩具とほしい玩具とを独自の通貨「かえるポイント」で交換、楽しみながらリサイクル活動を体験する。 協力: うらしまたろう、カーネーション、ケナフの会、むかしあそび研究会、野草クラブほか	078-743-8101 グループ わ
8月13日(火)～18日(日) 10:00～15:00 神戸市水の科学博物館	和(わ)で遊ぼう 身近な材料で木工工作、押し花絵、草木染め、バーニングアート(焼き画)、などを体験する。 協力: うらしまたろう、カーネーション、ケナフの会、木工グループ、花実の森PJ、環境未来館スタッフ	078-351-4488 神戸市水の博物館
8月18日(日) 10:00～12:00 13:00～15:00 しあわせの村 研修館	夏休み工作塾 夏休みもあとわずか、宿題の工作に挑戦する。 協力: ケナフの会、むかしあそび研究会、木工グループ	078-743-8092 こうべ市民福祉振興協会

開催日	場所	イベント
9月1日(日)	しあわせの村 ローンボウルズ場	ローンボウルズ大会
9月28日(土)	しあわせの村 球技場	ペタンク大会
10月17日(木)	しあわせの村 球技場	グランウドゴルフ大会
11月20日(水)	野仏の佇む道、シュラインロード	秋の森林浴ウォーキング

わいわいストリート大盛況!!

親子で昔遊びを楽しもうと”わいわいストリート”が5月5日、しあわせの村・芝生広場で開催され、2500人を越す来場者で大盛況でした。五月晴れの下、オーブン待ちかねた子どもたちが9時過ぎには行列、電車やモビール作りケナフを使った紙漉き体験、風船アート、皿回し、竹馬、風車、コマ回し、輪投げ、サッカーボールのスピードガンによるスピード測定などの遊びがいっぱい。作り上げた作品を手にとっこりする女兒、「竹馬に乗れた」と自慢顔の男児、皿回しに挑戦する家族連れなど、精一杯楽しんでいました。会場では木工・ケナフ・昔遊び・うらしまたろう・わ本部スタッフ150人を動員して20数種類の遊びを提供。材料は600～1000人分を目安に

用意したが、「材料が足りずに早仕舞い」とのグループもあったようです。木田担当理事は「今回の問題点を反省・検討し、次回はさらに多くの子供たちに喜んでもらえるよう工夫を重ねていきたい。同時に会場の安全対策などについても十分に考慮していく必要があるでしょう」との考えを示しました。



(北村洋)



ライラック咲いた

一ノ谷プラザで昨年末、植樹されたライラック7本が見事に開花しました。(写真：北浦俊明)



水の科学館で昔遊び

「やったあ、命中！」「風車できたよ」。子どもたちの歓声が水の科学博物館（兵庫区）に響きます。5月3日～6日に昔遊び研究会が開設したブースには、連日、200人を超す家族づれが次々と訪れ、割箸鉄砲・風車・折り紙・ぶんぶんゴマづくりにチャレンジしていました。(広報：井口久美子)



菊水山の急斜面を下山

春の森林浴ウォーキングが6月3日に開催。32人が参加して神鉄鈴蘭台ー菊水山ー烏原水源地（8km）を歩きました。案内は、森の仲間の小泉宏さんら3人。新緑を楽しみながら山頂で昼食を摂った後、急斜面を下って烏原水源地へ。この後、希望者は湊川隧道を見学。楽しい1日となりました。

(広報：北村洋・写真：中屋好生)



ゴミは6分別してね

ゴミを満載したクレーンが目の前に…。「わぁ！すごい」。子どもたちから感嘆の声が上がります。ここは、西区にある環境未来館ゴミ処理工場。6月7日、桜ヶ丘小（西区）4年生46人の社会科見学です。先生役は、コーディネーターの福永博巨（生15）さんと芝崎怜（国17）さん。ビデオやパネルを使ってゴミの種類や処理方法を手際よく説明していきます。子どもたちは終始興味しんしんの様子で、「おもしろかった」「工場を見せてもらい勉強になった」と話していました。(広報：井口久美子・写真：武富利美)

トピックス

松竹大歌舞伎

中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露
中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露

9月5日(木) 大ホール

昼の部 / 12:00 開演 (11:15 開場)
夜の部 / 17:00 開演 (16:15 開場)

特等席 7,000円 一等席 5,000円 二等席 4,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。Pコード 427-997 Lコード 54388

神戸文化ホール 同合せチケット発売所 **078-351-3349** 他 チケットぴあ、ローソンチケット CN プレイガイド などでも発売中!

主催：公益財団法人神戸市立文化振興財団 神戸文化ホール

トピックスは写真ニュースです。区会・部会の行事写真を、広報までお寄せください。